

先祖代々、守ってきたもの なくすわけにはいかない

誠一さん 私は小学2年生まで、この家に住んでいました。その後、祖父母や叔母たちが住んでいましたが、叔母が亡くなり、先祖代々、守ってきたものをなくすわけにはいかないと相続することを決めました。今は毎日自宅から通い、草刈りなど管理をしています。民泊や貸会場などでの活用を目指し、主屋を改修しました。活用方法を提案して実際に使ってくれる人がいれば、ぜひ活用してほしいです。



坂井家 上砥川

主屋・
納屋・蔵



坂井誠一さん、元子さん(市ノ後団地)

1 欄間や「含暉」と書かれた水野頼山氏の書が残る **2** 蔵 **3** 納屋 **4** 風呂は現代風の五右衛門風呂に **5** リノベーションされた玄関。土間をキッチンに

坂井家概要

【建設時期】主屋：江戸末期、納屋：明治 38(1905)年、蔵：大正 12(1923)年

地域で広大な山林と農地を所有していた「郷土」の住宅、蔵、納屋。肥後三筆と称された小池出身の書家・水野頼山氏に「含暉堂」と名付けられた主屋には、現在も水野氏の書が飾られています。



有馬家 下砥川

主屋・
蔵



主屋東側妻壁に描かれている「鏝絵」

有馬家概要



【建設時期】主屋：文久 3(1863)年、蔵：明治 21(1888)年
砥川の旧家である西園寺家から分家され、有馬姓となった家。蔵の腰部は土山瓦を使用した「なまこ壁」。主屋と蔵の壁には、左官職人が鏝を使って漆喰壁に描いた「鏝絵」があります。

古里の古民家のこれから

10月ごろに河端家でお掃除ワークショップを開催予定です。実際に足を運び、古里の古民家のこれからについて一緒に考えてみませんか？

昔からの長い歴史を積んだ建造物が地震に耐え、こうして残っていることは町として誇れることです。所有者の会の皆さんと連携し未来に向けて利活用を進め、50年、100年と大切に守り続けていくことが、今を生きる私たちの役割だと思っています。



所有者の会 会長
ありまのぶあき
有馬伸明さん(下砥川)